活用ガイド
再セットアップ編

PC98-NX シリーズ

Mate
Mate J
VersaPro
VersaPro J

（Windows Vista Businessインストールモデル）
（Windows Vista Home Basicインストールモデル）

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。『はじめにお読みください』の「8　マニュアルの使用方法」でご確認ください。

◆ 添付品の確認、本機の接続、Windows Vistaのセットアップ
➡ 『はじめにお読みください』

◆ 本機を安全に使うための情報
➡ 『安全にお使いいただくために』

◆ 本機の各部の名称・機能、本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明、システム設定（BIOS設定）
➡ 『活用ガイド　ハードウェア編』（電子マニュアル）

◆ 本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ
➡ 『活用ガイド　ソフトウェア編』（電子マニュアル）

◆ トラブル解決方法
➡ 『活用ガイド　ソフトウェア編』（電子マニュアル）

◆ 再セットアップ方法
➡ 『活用ガイド　再セットアップ編』（このマニュアルです）

◆ ディスプレイの利用方法
➡ 液晶ディスプレイがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

◆ 選択アプリケーション（ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア）の利用方法
➡ Microsoft® Office Personal 2007、Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007、Microsoft® Office Professional 2007があり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

◆ パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」のご案内
➡ 『保証規定＆修理に関するご案内』

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト（Microsoft Press）では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。
http://www.microsoft.com/japan/info/press/

このマニュアルは、再セットアップ方法について説明しています。
　このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それらを操作するためのマウスの基本的な動作がひと通りでき、Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。
　もし、あなたがパソコンに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

　選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。
　仕様についての詳細は『はじめにお読みください』の「10　付録　機能一覧」をご覧ください。

2008年 10月 初版

このマニュアルの対象機種について

このマニュアルの対象機種は、次のタイプおよび型番です。

型番の「＊」の箇所には、PC98-NXシリーズ Mate、VersaProの場合は「Y」、PC98-NXシリーズ Mate J、VersaPro Jの場合は「J」の文字が入ります。

PC98-NXシリーズ　Mate
PC98-NXシリーズ　Mate J

タイプME	MY28G/E-6、MY33B/E-6、MY31B/E-6、MY30B/E-6、MY22M/E-6、MY18W/E-6 M＊28F/E-6、M＊33A/E-6、M＊31A/E-6、M＊30A/E-6、M＊22L/E-6、M＊18X/E-6
タイプMA	M＊33A/A-6、M＊30A/A-6、M＊26R/A-6、M＊22L/A-6、M＊18X/A-6
タイプMC （コンパクトタワー型）	M＊22L/C-6、M＊18X/C-6

型番の調べ方、読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。また、マニュアル中の説明で、タイプ名や型番を使用している場合があります。

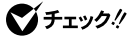
PC98-NXシリーズ　VersaPro
PC98-NXシリーズ　VersaPro J

タイプVE	VY25B/E-6、VY24B/E-6、VY22B/E-6、VY21H/E-6 V＊25A/E-6、V＊24A/E-6、V＊22A/E-6、V＊21M/E-6
タイプVF	V＊22A/F-6、V＊20M/F-6、V＊22A/FS-6、V＊20M/FS-6

型番の調べ方、読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。また、マニュアル中の説明で、タイプ名や型番を使用している場合があります。

このマニュアルの表記について

◆ このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。
メモ	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
HD	「再セットアップ領域」が存在する場合のみ可能な機能や操作、注意について説明します。
DVD	「再セットアップ用DVD-ROM」使用時のみ可能な機能や操作、注意について説明します。

◆ このマニュアルで使用している表記の意味

本機、本体	このマニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
Office Personal 2007モデル	Office Personal 2007がインストールされた状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデル	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007がインストールされた状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office Professional 2007モデル	Office Professional 2007がインストールされた状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office 2007モデル	Office Personal 2007モデル、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデル、またはOffice Professional 2007モデルを指します。
RAIDモデル	ミラーリング(RAID 1)機能がご利用いただけるモデルを指します。
Standby Rescue Multiモデル	Standby Rescue Multiが添付されたモデルを指します。
ブルーレイディスクドライブ	本機内蔵のBDライターを指します。

FDレスモデル
フロッピーディスクドライブがない状態でご購入いただいたモデルを指します。

CDレスモデル
DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブがない状態でご購入いただいたモデルを指します。

FDCDレスモデル
DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブ、およびフロッピーディスクドライブがない状態でご購入いただいたモデルを指します。

CD-R/RW with DVD-ROMドライブ搭載モデル
CD-R/RW with DVD-ROMドライブを搭載したモデルを指します。

DVDスーパーマルチドライブ搭載モデル
DVDスーパーマルチドライブを搭載したモデルを指します。

ブルーレイディスクドライブ搭載モデル
ブルーレイディスクドライブを搭載したモデルを指します。

増設ハードディスクモデル
ハードディスクを2台搭載したモデルを指します。

アプリケーションCD-ROM
本機添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を指します。

BD/DVD/CDドライブ
DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブを指します。書き分ける必要のある場合は、そのドライブの種類を記載します。

「スタート」ボタン
画面左下にある ボタンを指します。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」
「スタート」ボタンをクリックし、表示されたスタートメニューから「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を順にクリックする操作を指します。

【　】
【　】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。
【Ctrl】+【Y】と表記してある場合は、【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。

『　』
『　』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。

BIOSセットアップユーティリティ
本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「BIOS SETUP UTILITY」、または「Phoenix Secure Core(tm) Setup Utility」などと表示されます(画面上の表記はお使いの機種により異なります)。

◆ このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows Vista	次のいずれかを指します。 ・Windows Vista® Business with Service Pack 1(SP1) ・Windows Vista® Home Basic with Service Pack 1(SP1)
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007(Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007)
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007	Microsoft® Office Personal 2007(Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007、Microsoft® Office PowerPoint® 2007)
Office Professional 2007	Microsoft® Office Professional 2007(Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007、Microsoft® Office PowerPoint® 2007、Microsoft® Office Publisher 2007、Microsoft® Office Access 2007)
Always アップデートエージェント	Phoenix Always™, Trend Micro Pattern Update Agent
Standby Rescue Multi	Standby Rescue Multi 4.0

◆ このマニュアルで使用している画面

このマニュアルに記載の画面は、実際のものとは多少異なることがあります。
また、特にことわりのない場合、「再セットアップ領域」を使用したWindows Vista Businessインストールモデルの画面を使用しています。Windows Vista Home Basicをお使いの場合は、読み替えてください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows Vistaおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(7) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(8) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(9) 本書に記載されている内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービス及び技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.
NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.
NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Aero、Outlook、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
Phoenixは、Phoenix Technologies Ltd.の登録商標です。
Roxio Creatorは、米国Sonic Solutions社の登録商標です。
Corel、InterVideo、WinDVDは Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。
Standby Rescue Multiは、株式会社 ネットジャパンの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 2008
日本電気株式会社、NECパーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

このマニュアルの構成・読み方

ハードディスク内の「再セットアップ領域」に保存されている再セットアップ用データ、または本機添付の「再セットアップ用DVD-ROM」を使って本機のシステムを工場出荷時の状態に復元する方法などを説明しています。

必ず「PART1　再セットアップする」の「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。
また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。
索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容（チェック!!）、メモ（メモ）を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。

目次

PART 2

索　引

英数字

カ行

サ行

タ行

ハ行

再セットアップする

Windowsを再セットアップする方法について説明します。

この章の読み方

必ず「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。

この章の内容

システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

システムの修復方法には、次の方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

セーフモードを利用してシステムを修復
「セーフモードで起動する」(p.15)

↓

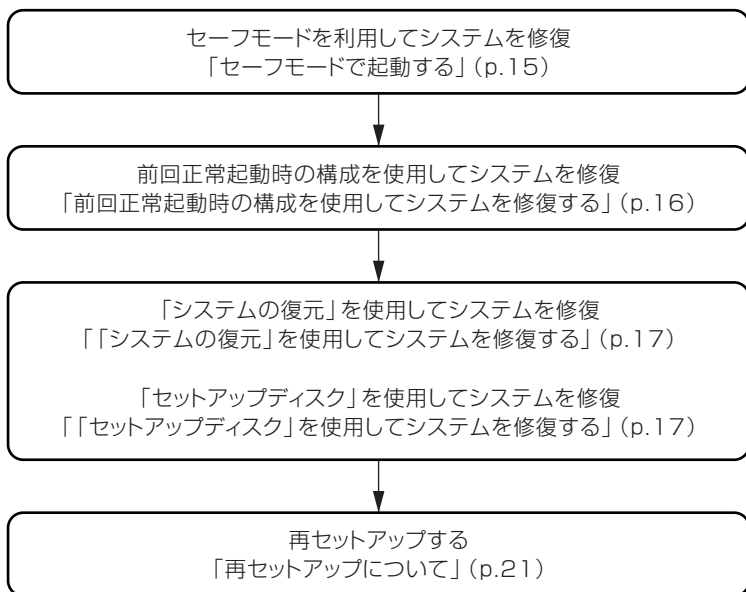
前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復
「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」(p.16)

↓

「システムの復元」を使用してシステムを修復
「「システムの復元」を使用してシステムを修復する」(p.17)

「セットアップディスク」を使用してシステムを修復
「「セットアップディスク」を使用してシステムを修復する」(p.17)

↓

再セットアップする
「再セットアップについて」(p.21)

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windows を再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

チェック!!

いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、電源コードを抜いた状態で90秒以上間隔をあけてから、再度電源コードを接続し、電源を入れてください。

セーフモードで起動する

セーフモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための特殊な診断モードです。以下の手順でセーフモードを起動させてください。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」ロゴの画面が表示されたら、【F8】を何度か押す**

「詳細ブート　オプション」画面が表示されます。
「オペレーティングシステムの選択」画面が表示された場合は、もう一度【F8】を押してください。

メモ

「詳細ブート　オプション」画面が表示されず、本機が通常のように起動した場合は、いったん電源を切り、手順1からやり直してください。

3 **【↑】、【↓】で「セーフモード」を選択し、【Enter】を押す**

Windowsのログオン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択してください。

本機がセーフモードで起動します。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムの構成を変更した後で、Windowsが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。

チェック!!

- **前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、全て破棄されます。**
- **システムの構成を変更し、その後2回以上Windowsを正常に起動した場合は、前回正常起動時の構成を使用しても、変更前のシステムの構成に戻すことはできません。**

前回正常起動時の構成を使用する場合は以下の手順で行います。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「詳細ブート　オプション」が表示されるまで、数回【F8】を押す**

3 **「詳細ブート　オプション」が表示されたら、「前回正常起動時の構成(詳細)」を選択し、【Enter】を押す**

Windowsのログオン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択してください。

これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows Vistaが起動します。

「システムの復元」を使用してシステムを修復する

「復元ポイント」と呼ばれるバックアップデータを利用して、システムを復元します。
Windowsが正常に起動しない場合は、セーフモードで起動した後、「システムの復元」を行ってください。

チェック!!

セーフモードでは、復元ポイントの作成はできません。

「システムの復元」、「復元ポイント」の詳細については「ヘルプとサポート」をご覧ください。

「セットアップディスク」を使用してシステムを修復する

ファイルなどの破損により、セーフモードや前回正常起動時の構成を使用してもWindowsが正常に起動しないときに備え、次の手順で「Windows Vista セットアップディスク」を作成し、トラブルが発生したときは「Windows Vista セットアップディスク」を使用してシステムを修復してください。

チェック!!

この作業にはCD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブが必要です。
DVD-ROMドライブモデル、またはCDレスモデルをお使いの方は、別売のオプションを使用してください。

◎「Windows Vista セットアップディスク」の作成

チェック!!

- **この操作は管理者(Administrator権限を持つユーザー)で行ってください。**
- **「Windows Vista セットアップディスク」はOS標準機能では作成することはできません。**
- **「Windows Vista セットアップディスク」を作成するには700MB、または650MBのCD-R媒体が1枚必要です。**
  また、作成したCD-Rのレーベルには「Windows Vista セットアップディスク」と書いておいてください。
- **手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。**

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック
2. 「システムとメンテナンス」をクリックし、「管理ツール」をクリック
3. 「コンピュータの管理」をダブルクリック
4. 画面左側のツリーの「記憶域」→「ディスクの管理」をクリック
5. 「ディスク0」の「NEC-RESTORE」を右クリックし、表示されたメニューから、「ドライブ文字とパスの変更」をクリック
6. 「追加」ボタンをクリック
7. 「次のドライブ文字を割り当てる」で割り当てたいドライブ文字を選択する
8. 「OK」ボタンをクリック

   「自動再生」画面が表示された場合は「×」ボタンをクリックしてください。
9. 表示されている画面を順に閉じる
10. 「スタート」ボタン→「コンピュータ」をクリック
11. 「NEC-RESTORE」をダブルクリック
12. 「IMAGE」フォルダにある「WINRE.iso」のイメージファイルをCD-R媒体に書き込む

チェック!!

「WINRE.iso」のイメージファイルは展開して書き込みを行ってください。操作方法に関しては「Roxio Creator LJB」のヘルプを参照ください。

13. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック

14 「システムとメンテナンス」をクリックし、「管理ツール」をクリック

15 「コンピュータの管理」をダブルクリック

16 画面左側のツリーの「記憶域」→「ディスクの管理」をクリック

17 「ディスク0」の「NEC-RESTORE」を右クリックし、表示されたメニューから、「ドライブ文字とパスの変更」をクリック

18 割り当てられているドライブ文字を選択し、「削除」ボタンをクリック

チェック!!

「このドライブ文字を削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。

19 表示されている画面を順に閉じる

以上で「Windows Vista セットアップディスク」の作成は終了です。
次に「◎「Windows 回復環境(Windows RE)」の開始」へ進んでください。

◎「Windows 回復環境(Windows RE)」の開始

1 本機の電源を入れ、すぐに「Windows Vista セットアップディスク」をBD/DVD/CDドライブにセットする

2 「システム回復オプション」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

3 修復するオペレーティング システムを選択し、「次へ」ボタンをクリック

チェック!!

「Windows インストールを検索しています」と表示された場合は、検索が終了するまで、しばらくお待ちください。

4 「回復オプションにアクセスするには、ローカル ユーザーとしてログオンしてください。」と表示された場合は、ご購入直後に作成した管理者ユーザー(Administrator権限を持つユーザー)を選択し、「OK」ボタンをクリック

チェック!!

パスワードを設定している場合はパスワードを入力してください。

5 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック

以降は画面の指示に従ってください。

チェック!!

- 問題の状態によっては自動的に「スタートアップ修復」が行われる場合があります。
- システムの復元を利用して、スタートアップ修復を行う場合があります。「システムの復元」の詳細については「ヘルプとサポート」をご覧ください。

6 「完了」ボタンをクリック

チェック!!

- BD/DVD/CDドライブの媒体を取り出してからクリックしてください。
- 「完了」ボタンをクリックすると、自動的に再起動する場合があります。

7 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「シャットダウン」ボタンをクリック

以上でWindows 回復環境(Windows RE)は終了です。

再セットアップについて

再セットアップを行うと、壊れてしまった本機のシステムを復旧させることができますがハードディスクに保存したファイルは消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかを確認し、以下の注意事項をお読みになってから再セットアップの準備へ進んでください。

再セットアップとは

本機のシステムが壊れてしまったときなどに、「再セットアップ領域」、または「再セットアップ用DVD-ROM」に入っているデータを元に、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

1. トラブルによるシステムの復旧をするため

・ 電源を入れても電源ランプは点灯するが、Windowsが動作しない。
・ ハードディスク内のプログラムが正常に動作しない。
・ ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
・ システムの修復を行っても問題が解決できない。
・ セーフモードで起動しても問題が解決できない。

2. ハードディスクの設定を変更するため

・ Cドライブの容量を変更したい。
・ ハードディスクを1つのパーティションにしたい。

3. Windowsの設定を変更するため

Windowsを工場出荷時の状態に戻したい。

4. Always アップデートエージェントを追加するため

Always アップデートエージェントを追加するためには「再セットアップ用DVD-ROM」を使用し、標準再セットアップを行う必要があります。

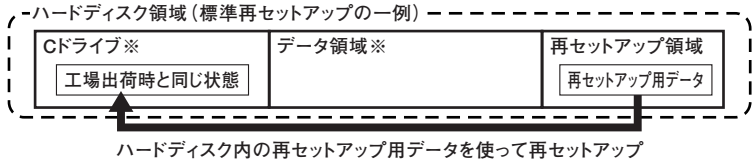
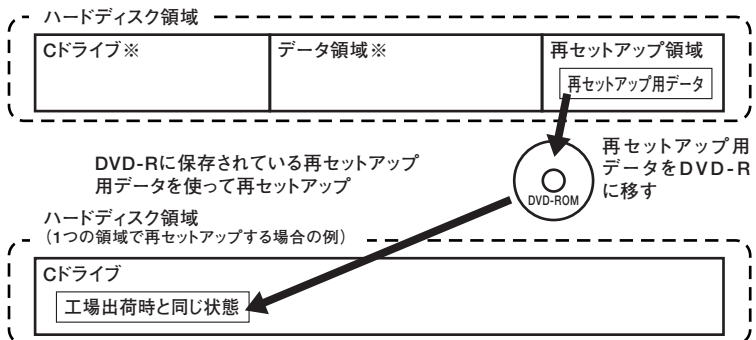
再セットアップの種類

再セットアップには内蔵ハードディスク内の「再セットアップ領域」を使用した再セットアップと「再セットアップ用DVD-ROM」を使用した再セットアップ方法とがあり、それぞれに標準再セットアップモードとカスタム再セットアップモードがあります。
ここでは全ての再セットアップの種類とオプションについて説明します。

「再セットアップ領域」について

HD ハードディスク内の「再セットアップ領域」にある再セットアップ用データを使用して、本機を再セットアップします。

チェック!!

ハードディスクがダイナミックディスクになっている場合、この方法では再セットアップできません。

DVDスーパーマルチドライブ搭載モデル、ブルーレイディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は、「再セットアップ領域」に保存されている再セットアップ用データを使用して、「再セットアップ用DVD-ROM」を作成できます。

※本機を再セットアップすると、Cドライブがいったんフォーマット(初期化)されることにより、Cドライブのデータは全て消去されます。また、再セットアップ方法によっては、データ領域(Dドライブなど)もフォーマットされ、データ領域に保存していたデータも消去されます。
お客様のデータなどがCドライブやデータ領域に保存されている場合、必ずデータのバックアップをとってから再セットアップを行ってください。データ領域をフォーマットしたくない場合は、Cドライブだけを再セットアップする方法もあります。
再セットアップの種類については「標準再セットアップとカスタム再セットアップ」(p.24)をご覧ください。

ハードディスクの領域を自由に(「再セットアップ領域」を含む)使用したい、または全領域を1パーティションにしたい場合は、「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップしてください。
「再セットアップ用DVD-ROM」を作成する場合、「PART2　付録」の「「再セットアップ用DVD-ROM」を作成/購入する」(p.46)をご覧ください。

チェック!!

- 「再セットアップ領域」を削除してしまうと「再セットアップ領域」を使用した再セットアップができなくなります。「再セットアップ領域」を復元させるためには「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して標準再セットアップする必要があります。「再セットアップ用DVD-ROM」を入手(作成または購入)するまでは「再セットアップ領域」は削除しないでください。
- 「再セットアップ領域」を削除したい場合は、「PART2　付録」の「「再セットアップ領域」を削除する」(p.49)をご覧ください。

「再セットアップ用DVD-ROM」について

DVD ハードディスクの領域を自由に(「再セットアップ領域」を含む)使用したい、または全領域を1パーティションにしたい場合は、「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップしてください。

チェック!!

- 「再セットアップ用DVD-ROM」は、セレクションメニューで、「再セットアップ用DVD-ROM」を選択した場合のみ添付されています(CDレスモデルをお使いの方で「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップする場合は、別売のDVD-ROMドライブが必要です)。
  - DVD-ROMドライブ(PC-VP-BU44)
- ハードディスクがダイナミックディスクになっている場合、「標準再セットアップ」以外では再セットアップできません。

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

チェック!!

- 再セットアップ後にAlways アップデートエージェントを追加したい場合は、「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して、標準再セットアップを行ってください。
  その他の再セットアップを行った場合、再セットアップ後にAlways アップデートエージェントを追加することはできません。
- Standby Rescue Multiモデルで残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、「PART2　付録」の「再セットアップ前の注意事項(Standby Rescue Multiモデルのみ)」(p.53)をご覧ください。

◎標準再セットアップ

1台目の内蔵ハードディスクを全て工場出荷時と同じ状態に戻します。2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます(※)。初心者の方やハードディスクについて詳しくご存知でない方は、必ずこの方法で再セットアップしてください。

※ Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、再セットアップ前に2台目の内蔵ハードディスクを未使用領域にする必要があります。

チェック!!

「標準再セットアップ」は1台目の内蔵ハードディスクを全て工場出荷時と同じ状態に戻します。そのため、「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して「標準再セットアップ」した場合は、「再セットアップ領域」も復元されます。

◎カスタム再セットアップ

Cドライブのみを再セットアップしたい、Cドライブの容量を変更したい場合は、この方法で再セットアップしてください。
以降の説明をご覧になり、再セットアップ方法を選択してください。

次の方法から再セットアップ方法を選択してください。

■Cドライブのみを再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクのCドライブのみを再セットアップします。
Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。
2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます(※)。

DVD **■全領域を1パーティションにして再セットアップする**

1台目の内蔵ハードディスクの全領域を1つのパーティション(NTFS)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。
1台目の内蔵ハードディスクの内容は全て消えます。必ずデータのバックアップをとってください。
2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます(※)。

■ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクの領域を1GB単位(NTFS)で40GBから自由に設定して再セットアップします。

1台目の内蔵ハードディスクの内容は全て消えます。必ずデータのバックアップをとってください。

2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます(※)。

※ Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、再セットアップ前に2台目の内蔵ハードディスクを未使用領域にする必要があります。

チェック!!

ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのMバイト値、Gバイト値を示しています。OSによっては、1M バイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

◎オプション

■2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除(Standby Rescue Multiモデル用)

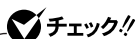
チェック!!

Standby Rescue Multiモデルのみ使用できます。
対象モデルでない場合は、使用しないでください。

Standby Rescue Multiモデルで2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。

2台目の内蔵ハードディスクの必要なデータをバックアップした後、2台目の内蔵ハードディスクドライブを未使用領域にした後に、再セットアップしてください。

■2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット

チェック!!

増設ハードディスクモデルのみ使用できます。
対象モデルでない場合は、使用しないでください。

再セットアップでは2台目の内蔵ハードディスクはフォーマットされません。2台目の内蔵ハードディスクをフォーマットしたい場合は、再セットアップモード選択画面で「2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット」を選択し、フォーマットした後は「標準再セットアップ」、または「カスタム再セットアップ」を行ってください。

■ハードディスクのデータ消去

本機のハードディスクのデータを消去します。
ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、OS標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。
本機を譲渡、または廃棄する場合にご利用ください。
使用方法については、「PART2　付録」の「ハードディスクのデータ消去」(p.63)をご覧ください。

再セットアップの準備

ここでは、再セットアップをする前の必要な準備について説明しています。再セットアップする前に必ずお読みください。

必要なものをそろえる

再セットアップには少なくとも次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

・『はじめにお読みください』

〈Office Personal 2007モデルをお使いの場合〉

- 「Office Personal 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1 CD-ROM」

〈Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデルをお使いの場合〉

- 「Office Personal 2007」のCD-ROM
- 「Office PowerPoint 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1 CD-ROM」

〈Office Professional 2007モデルをお使いの場合〉

- 「Office Professional 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1 CD-ROM」

〈CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合〉

- 「WinDVD for NEC CD-ROM / Roxio Creator LJB CD-ROM」

「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップする場合は、さらに次のものを準備しておいてください。

- 「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」
- 「再セットアップ用DVD-ROM」

チェック!!

- CDレスモデルをお使いの方で「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップする場合は、別売のDVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブが必要です。
- 起動ハードディスクがダイナミックディスクになっているときは、「再セットアップ領域」を使用して再セットアップすることはできません。「アプリケーションCD-ROM」と「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して「標準再セットアップ」を行ってください。
- 「再セットアップ用DVD-ROM」が添付されていないモデルをお使いの場合は、「PART2　付録」の「「再セットアップ用DVD-ROM」を作成/購入する」(p.46)をご覧になり作成/購入してください。

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリケーションは全て消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、データのバックアップをとってから再セットアップしてください。

チェック!!

- マルチユーザーでお使いの場合は、それぞれのユーザー名でログオンし、データのバックアップをとってください。
- Standby Rescue Multiモデルで残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、「PART2　付録」の「再セットアップ前の注意事項(Standby Rescue Multiモデルのみ)」(p.53)をご覧ください。

使用環境の設定を控える

再セットアップを行う前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。また、ネットワークの設定なども再セットアップ後には全て工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

参照　工場出荷時の設定値に戻す方法→『活用ガイド　ハードウェア編』の「システム設定」

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

- 無線LAN機能をオフにする
- 本機の電源を切る
- 周辺機器を取り外す
- BD/DVD/CDドライブを使える状態にする
- ACアダプタを接続する

◎無線LAN機能をオフにする

無線LANが内蔵されているモデルの場合は、無線LAN機能がオフになっていることを確認してください。無線LAN機能がオンになっている場合は、再セットアップの前にオフにしてください。

◎本機の電源を切る

スリープ状態や休止状態になっている場合は、復帰してから電源を切ってください。

◎周辺機器を取り外す

『はじめにお読みください』をご覧になり周辺機器を取り外して、ご購入時と同じ状態にしてください(BD/DVD/CDドライブを除く)。

チェック!!

本機にLANケーブルが接続されている場合は、再セットアップを開始する前にいったん取り外してください。
デュアルディスプレイ機能を使用している場合は、2台目のディスプレイを取り外し、ご購入時と同じ状態にしてください。

◎BD/DVD/CDドライブを使える状態にする

Office 2007モデルをお使いの方、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブ搭載モデルをお使いの方、または「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップする方は、再セットアップを始める前にDVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブを使える状態にしておいてください。

チェック!!

タイプVEのCDレスモデルで別売のDVD/CDドライブ(USB接続)を使用して再セットアップを行う場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動し、「Advanced」メニューの「Legacy USB support」を「FD/CD」に設定し、「Boot」メニューの「USB CD/DVD」を「Boot priority order」の最上位に設定してから、再セットアップを開始してください。なお、再セットアップが終了したら、BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時の状態に戻してください。

◎ACアダプタを接続する

VersaPro、VersaPro Jをお使いの場合、バッテリ駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

再セットアップ時の注意（共通）

再セットアップするときには必ず次の注意事項を守ってください。

◎再セットアップする前にデータのバックアップをとる

Cドライブやデータ領域（Dドライブなど）にデータなどを保存している場合は、必ずバックアップをとってから再セットアップを行ってください。

◎マニュアルに記載されている手順通りに行う

再セットアップするときは、必ずこのマニュアルに記載されている手順を守ってください。手順を省略したり、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチの操作をすると、正しく再セットアップできないことがあります。

チェック!!

HD

Always アップデートエージェントをインストールした場合、本機を起動し、【F11】を押した後、画面に「Phoenix Alwaysを起動するには、F4キーを押してください。」と表示されます。
再セットアップを行う場合は、【F4】は押さずに、「Windows 再セットアップ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

◎電源を入れるとき

手順に従っていったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、電源コードを抜いた状態で90秒以上間隔をあけてから、再度電源コードを接続し、電源を入れてください。

◎再セットアップは途中でやめない

いったん再セットアップを始めたら、再セットアップの作業を絶対に中断しないでください。作業を中断すると故障の原因となります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していますので、再セットアップを中断せず、そのままお待ちください。万が一再セットアップの作業を中断してしまった場合は、正しく再セットアップされていない可能性があるので、再セットアップを最初からやり直してください。

◎再セットアップができないとき

「本機では再セットアップすることが出来ません」と表示された場合は、機種情報が書き換わっている可能性があります。弊社修理受付窓口にご相談ください。

参照 『保証規定＆修理に関するご案内』

◎再セットアップ中は長時間放置しない

再セットアップが終了し、いったん電源を切るまで、再セットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

◎再セットアップ後の状態について

ご購入後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータは復元されません。インストールし直してください。また、再セットアップ後に周辺機器の設定は全て初期状態になります。もう一度設定し直してください。

チェック!!

Cドライブ以外のドライブにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。再セットアップ後にアプリケーションがうまく動作しなくなった場合は、アプリケーションを再インストールしてみてください。

再セットアップ時の注意(Mate、Mate J)

◎ダイナミックディスクについて

- 起動ハードディスクがダイナミックディスクになっているときは、「再セットアップ領域」を使用して再セットアップすることはできません。「アプリケーションCD-ROM」と「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して「標準再セットアップ」を行ってください。
- 2台目の内蔵ハードディスクがダイナミックディスクになっている場合は必要なデータをバックアップした後、Windows上でベーシックディスクに変更してから再セットアップしてください。

◎RAIDモデルについて

RAIDモデルをご利用の場合は、再セットアップ前に、ミラーリングが正常に設定されている必要があります。Windowsの再セットアップ作業に入る前にディスクアレイ情報を確認してください。確認方法については、「PART2　付録」の「再セットアップ前の注意事項(RAIDモデルのみ)」(p.57)をご覧ください。

◎Standby Rescue Multiモデルについて

2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。2台目の内蔵ハードディスクの必要なデータをバックアップした後、2台目の内蔵ハードディスクドライブを全て未使用領域にしてから、再セットアップしてください。

チェック!!

残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、「PART2　付録」の「再セットアップ前の注意事項(Standby Rescue Multiモデルのみ)」(p.53)をご覧ください。

再セットアップ時の注意(VersaPro、VersaPro J)

◎ダイナミックディスクについて

本機の再セットアップはダイナミックディスクをサポートしておりません。

これで「再セットアップ」の準備が全て整いました。
再セットアップの方法により次の項目に進んでください。

〈「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする場合〉
「「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする」(p.36)

〈「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップする場合〉
「「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップする」(p.37)

「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする

ハードディスク内の「再セットアップ領域」にある再セットアップ用データを使用して、本機を再セットアップします。

「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする

HD 次の操作を行い、再セットアップを開始してください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」ロゴの画面が表示されたら、【F11】を数回押す

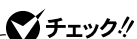
チェック!!

- 【F11】を押すタイミングが遅いと、「Windows 再セットアップ」画面が表示されません。表示されなかった場合は、いったん電源を入れ直し、【F11】を押す間隔を変えてください。
- Always アップデートエージェントをインストールした場合、本機を起動し、【F11】を押した後、画面に「Phoenix Alwaysを起動するには、F4キーを押してください。」と表示されます。
  再セットアップを行う場合は、【F4】は押さずに、「Windows 再セットアップ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(p.38)へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」(p.40)へ進んでください。

「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップする

「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して、本機を再セットアップします。

「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップする

DVD

必ず本機の電源が切れている状態から作業を行ってください。

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「アプリケーションCD-ROM」をBD/DVD/CDドライブにセットする

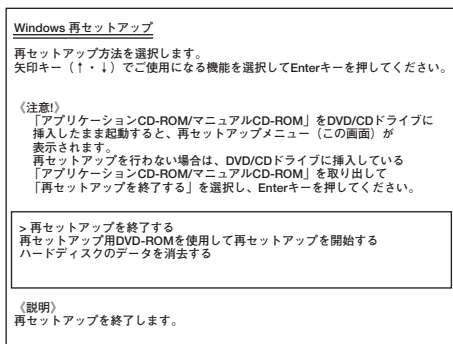
3 次の画面が表示されたら、「再セットアップ用DVD-ROMを使用して再セットアップを開始する」を選択し、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

再セットアップ方法を選択します。
矢印キー（↑・↓）でご使用になる機能を選択してEnterキーを押してください。

《注意!》
「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をDVD/CDドライブに
挿入したまま起動すると、再セットアップメニュー（この画面）が
表示されます。
再セットアップを行わない場合は、DVD/CDドライブに挿入している
「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を取り出して
「再セットアップを終了する」を選択し、Enterキーを押してください。

> 再セットアップを終了する
再セットアップ用DVD-ROMを使用して再セットアップを開始する
ハードディスクのデータを消去する

《説明》
再セットアップを終了します。

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(p.38)へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」(p.40)へ進んでください。

標準再セットアップする

標準再セットアップする

チェック!!

- 再セットアップ後にAlways アップデートエージェントを追加したい場合は、「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して、標準再セットアップを行ってください。「再セットアップ領域」を使用して標準再セットアップを行った場合は、再セットアップ後にAlwaysアップデートエージェントを追加することはできません。
- Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。「2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除(Standby Rescue Multiモデル用)」を選択し、ハードディスクを未使用領域にした後に、再セットアップしてください。

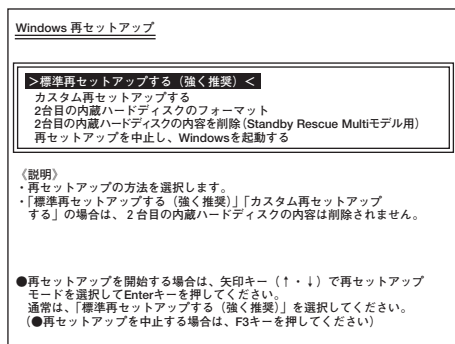
1 「Windows Vistaの再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

2 次の画面が表示されたら、「標準再セットアップする(強く推奨)」を選択し、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

>標準再セットアップする（強く推奨）<
カスタム再セットアップする
2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット
2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除（Standby Rescue Multiモデル用）
再セットアップを中止し、Windowsを起動する

《説明》
・再セットアップの方法を選択します。
・「標準再セットアップする（強く推奨）」「カスタム再セットアップする」の場合は、２台目の内蔵ハードディスクの内容は削除されません。

●再セットアップを開始する場合は、矢印キー（↑・↓）で再セットアップモードを選択してEnterキーを押してください。
通常は、「標準再セットアップする（強く推奨）」を選択してください。
（●再セットアップを中止する場合は、F3キーを押してください）

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

次に「Windowsの設定をする」(p.39)へ進んでください。

Windowsの設定をする

Windowsのセットアップを行います。

◎Windowsのセットアップ

『はじめにお読みください』の「6　Windowsのセットアップ」をご覧になり、Windowsのセットアップを行ってください。

チェック!!

Windowsのセットアップが終了したら、いったん電源を切った後、『はじめにお読みください』の「9　使用する環境の設定と上手な使い方」をご覧になり、必要に応じて各種の設定などを行ってください。

次に「◎各アプリケーションを再インストールする」へ進んでください。

◎各アプリケーションを再インストールする

ご購入時にインストールされていたOffice Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007、またはOffice Professional 2007、およびRoxio Creator LJBの各アプリケーションを再インストールしてください。
再インストールの方法は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

次に「◎ご購入後に行った設定をやり直す」へ進んでください。

◎ご購入後に行った設定をやり直す

ご購入後に行った設定は、再セットアップによって全てなくなります。再度、設定し直してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーションをインストールしていた場合も再インストールしてください。

以上でWindows Vistaの再セットアップは終了です。

カスタム再セットアップする

カスタム再セットアップする

チェック!!

Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。「2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除(Standby Rescue Multiモデル用)」を選択し、ハードディスクを未使用領域にした後に、再セットアップしてください。

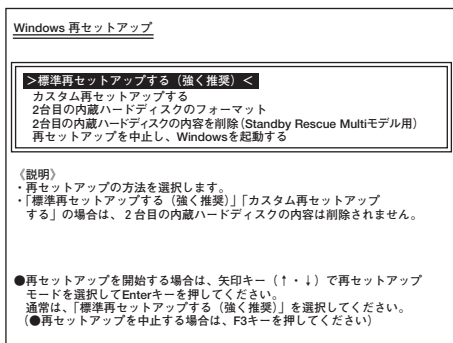
1 **「Windows Vistaの再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す**

2 **次の画面が表示されたら、「カスタム再セットアップする」を選択し、【Enter】を押す**

```
Windows 再セットアップ

 >標準再セットアップする（強く推奨）<
  カスタム再セットアップする
  2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット
  2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除（Standby Rescue Multiモデル用）
  再セットアップを中止し、Windowsを起動する

《説明》
・再セットアップの方法を選択します。
・「標準再セットアップする（強く推奨）」「カスタム再セットアップ
  する」の場合は、２台目の内蔵ハードディスクの内容は削除されません。

●再セットアップを開始する場合は、矢印キー（↑・↓）で再セットアップ
  モードを選択してEnterキーを押してください。
  通常は、「標準再セットアップする（強く推奨）」を選択してください。
（●再セットアップを中止する場合は、F3キーを押してください）
```

これ以降の操作は、再セットアップ方法により異なりますので、それぞれのページへ進んでください。

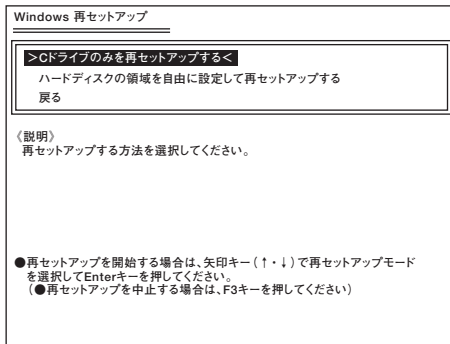
・「Cドライブのみを再セットアップする」(p.41)
・「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.42)
・「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(p.43)

Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブのみを再セットアップしたい場合は、この方法で行います。

チェック!!

- **お客様の環境によっては、再セットアップ前に割り当てていたドライブ文字またはパスの順番が変わってしまう場合があります。その場合は再セットアップ後、手動で割り当ててください。**
- **パーティションが存在しない状態では、この方法で再セットアップすることはできません。**
- **この方法で再セットアップした場合、再セットアップ後にAlwaysアップデートエージェントを追加することはできません。**

1 次の画面が表示されたら、「Cドライブのみを再セットアップする」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(p.39)へ進んで、その後の操作を行ってください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする

DVD 全領域を1パーティション(NTFS)にしたい場合は、この方法で行います。

チェック!!

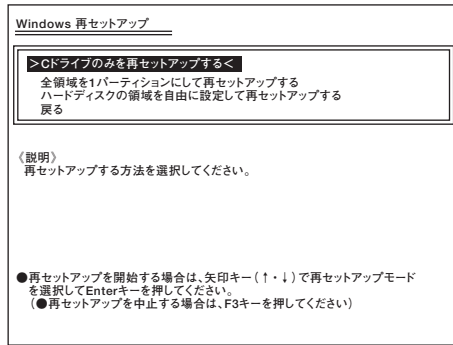
- **このモード(全領域を1パーティションにして再セットアップする)は「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ表示されます。**
- **この方法で再セットアップした場合、再セットアップ後にAlwaysアップデートエージェントを追加することはできません。**

1 次の画面が表示されたら、「全領域を1パーティションにして再セットアップする」を選択し、【Enter】を押す

```
Windows 再セットアップ

 ＞Cドライブのみを再セットアップする＜
   全領域を1パーティションにして再セットアップする
   ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする
   戻る

《説明》
 再セットアップする方法を選択してください。

●再セットアップを開始する場合は、矢印キー(↑・↓)で再セットアップモード
 を選択してEnterキーを押してください。
 (●再セットアップを中止する場合は、F3キーを押してください)
```

※ 画面は「再セットアップ用DVD-ROM」使用時のものです。

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

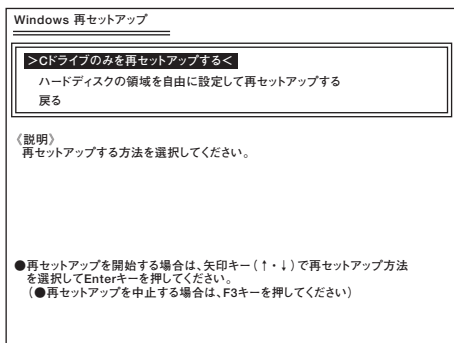
「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(p.39)へ進んで、その後の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

Cドライブの領域を変更したい場合は、この方法で行います。
Cドライブの領域を1GB単位(NTFS)で40GBから自由に設定して再セットアップすることができます。

チェック!!

- **指定できるサイズの最大値はハードディスクの容量より、数GB小さい値(※)です。**
  全領域を1パーティションにしたい場合は、「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.42)をご覧ください。
  ※ お使いの環境により異なります。再セットアップ画面に表示される値を確認してください。
- **この方法で再セットアップした場合、再セットアップ後にAlwaysアップデートエージェントを追加することはできません。**

1 **次の画面が表示されたら、「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」を選択し、【Enter】を押す**

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

チェック!!

ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト＝1,000,000バイト、1Gバイト＝1,000,000,000バイトで計算したときのMバイト値、Gバイト値を示しています。
OSによっては、1M バイト＝1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト＝1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(p.39)へ進んで、その後の操作を行ってください。

付　録

この章の読み方

「再セットアップ用DVD-ROM」の作成/購入、「再セットアップ領域」の削除/復元、Standby Rescue Multiモデルのデータバックアップ方法、およびRAIDモデルでの再セットアップ方法、本機を譲渡、または廃棄する場合のハードディスクデータの消去方法について説明しています。
目的に合わせて該当するページをお読みください。

この章の内容

「再セットアップ用DVD-ROM」を作成/購入する

「再セットアップ用DVD-ROM」を作成する

◎注意事項

・「再セットアップ用DVD-ROM」の作成機能については、出荷時の製品構成でのみサポートしております。
　「再セットアップ用DVD-ROM」を作成する場合は、必ずService Packの変更やRoxio Creator LJBのアップデート前に行ってください。
・この操作は管理者(Administrator権限を持つユーザー)で行ってください。
・「再セットアップ用DVD-ROM」は、本機にプリインストール、および添付されているRoxio Creator LJBとご購入時にセレクションメニューで選択したDVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブを使用して作成してください。
・「再セットアップ用DVD-ROM」の作成には、約1時間30分かかります(モデルやご使用になるDVD-R媒体によって異なります)。
・「再セットアップ用DVD-ROM」作成中に「This action cannot be completed because the other application is busy. 」と表示された場合は、「Retry」ボタンをクリックしてください。
　このメッセージが表示された場合でも、作成した「再セットアップ用DVD-ROM」は問題なく使用できます。
・作成した「再セットアップ用DVD-ROM」は大切に保管し、DVD-ROMのレーベルには「再セットアップ用DVD-ROM」と書いておいてください。

◎「再セットアップ用DVD-ROM」作成前の準備

・「再セットアップ用DVD-ROM」の作成にはDVD-R媒体が1枚必要です。DVD-R以外の媒体では「再セットアップ用DVD-ROM」は作成できませんのでご注意ください。
・「再セットアップ用DVD-ROM」の作成作業に入る前に次のことを行ってください。
  - ACアダプタを接続する
  - 別売の周辺機器を取り外す
  - Roxio Creator LJBがインストールされていない場合は追加する
  - 常駐しているアプリケーション、または起動中のアプリケーションを終了させる
  - 省電力機能の設定を解除させる

◎「再セットアップ用DVD-ROM」の作成

1 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップ用DVD-ROM作成」をクリック**

2 **「再セットアップ用DVD-ROM作成」画面が表示されたら、「スタート」ボタンをクリック**

これ以降の操作は「完了」ボタンが表示されるまで、画面の指示に従ってください。また、作成したDVD-ROMのレーベルには「再セットアップ用DVD-ROM」と書いてください。

以上で「再セットアップ用DVD-ROM」の作成は終了です。

「再セットアップ用DVD-ROM」を購入する

「再セットアップ用DVD-ROM」を紛失したり破損したりした場合はご購入いただけます(有料)。

お買い求めの際は、以下の「PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター」のホームページにアクセスしてください。

PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター

http://nx-media.ssnet.co.jp/

「再セットアップ領域」を削除する

「再セットアップ領域」にある再セットアップ用データは、以下の手順で削除することができます。

「再セットアップ領域」削除時の注意

・「再セットアップ領域」にある再セットアップ用データを削除すると「再セットアップ領域」を使用した再セットアップができなくなります。「再セットアップ領域」を復元させるためには「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して標準再セットアップを行う必要がありますので、「再セットアップ用DVD-ROM」を作成、または購入するまでは、「再セットアップ領域」は削除しないでください。

参照 **「再セットアップ用DVD-ROM」の作成/購入→「「再セットアップ用DVD-ROM」を作成/購入する」(p.46)**

・「再セットアップ領域」内にある再セットアップ用データの削除は、Standby Rescue Multiのインストール前に行ってください。

Always アップデートエージェントの確認

「再セットアップ領域」にある再セットアップ用データの削除方法は、Always アップデートエージェントの有無により異なります。再セットアップ用データを削除する前に、次の手順でAlways アップデートエージェントが起動するかを確認してください。

チェック!!

タイプMC(コンパクトタワー型)、タイプVFおよびRAIDモデルをお使いの方はAlways アップデートエージェントの確認は必要ありません。「「再セットアップ領域」を削除する(Always アップデートエージェントが起動しない場合)」(p.50)をご覧になり、「再セットアップ領域」にある再セットアップ用データを削除してください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」ロゴの画面で【F11】を押す

3 「Phoenix Alwaysを起動するには、F4キーを押してください。」と表示されたら、【F4】を押す

チェック!!

【F11】を押すタイミングが遅いと「Phoenix Alwaysを起動するには、F4キーを押してください。」と表示されません。表示されなかった場合は、いったん電源を入れ直し、【F11】を押すタイミングを変えてください。

Always アップデートエージェントが起動した場合は、次の「「再セットアップ領域」を削除する(Always アップデートエージェントが起動する場合)」をご覧になり、「再セットアップ領域」を削除してください。
Always アップデートエージェントが起動しない(「Windows再セットアップ」画面が表示される)場合は、すでにAlways アップデートエージェントが削除されています。「「再セットアップ領域」を削除する(Always アップデートエージェントが起動しない場合)」をご覧になり、「再セットアップ領域」を削除してください。

「再セットアップ領域」を削除する(Always アップデートエージェントが起動する場合)

Alwaysアップデートエージェントをインストールしている場合の「再セットアップ領域」の削除方法については、「アプリケーションCD-ROM」の「ALWAYSUA」フォルダの「Readme.pdf」をご覧ください。

「再セットアップ領域」を削除する(Always アップデートエージェントが起動しない場合)

チェック!!

- この操作は管理者(Administrator権限を持つユーザー)で行ってください。
- 「Always アップデートエージェントの確認」の手順を行わなかった場合は、手順2に進んでください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

1. **「Windows Vista 再セットアップ」画面が表示されたら、画面の指示に従い、Windowsを起動する**
   Windowsが起動します。

2. **「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック**

3. **「システムとメンテナンス」をクリックし、「管理ツール」をクリック**

4. **「コンピュータの管理」をダブルクリック**

5. **「コンピュータの管理」画面が表示されたら、「ディスクの管理」をクリック**

6. **「ディスク0」の「NEC-RESTORE」を選択し、「操作」メニュー→「すべてのタスク」の「ボリュームの削除」をクリック**

7. **「シンプルボリュームの削除」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック**

以上で「再セットアップ領域」の削除は終了です。

「再セットアップ領域」を復元させる

DVD 「再セットアップ領域」を復元させるためには、作成、または購入した「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して標準再セットアップを行ってください。
なお、標準再セットアップを行うと、1台目の内蔵ハードディスクは工場出荷時の状態に戻るため、あらかじめ必要なデータのバックアップをとってから、標準再セットアップを行ってください。

再セットアップ前の注意事項
(Standby Rescue Multiモデルのみ)

Standby Rescue Multiモデルで再セットアップを行う場合のデータの復元方法について説明します。

◎1台目の内蔵ハードディスクで運用している場合

Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、再セットアップ前に2台目の内蔵ハードディスクを未使用領域にする必要があります。残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、1台目の内蔵ハードディスクにそのデータを復元し、2台目の内蔵ハードディスクドライブを未使用領域にした後、再セットアップを行ってください。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」ロゴの画面で【F2】を押し、BIOSセットアップユーティリティを起動する**

3 **「Boot」で起動順位を次のように設定する**

「Boot」の「Hard Disk Drives」
　「1st Drive」:「HDD: P0」
　「2nd Drive」:「HDD: P1」

4 **BIOSセットアップユーティリティを終了する**

5 **Standby Rescue Multiマネージャを起動する**

6 **「Standby Rescue Multiマネージャ」画面で、復元するファイルやフォルダが存在するボリュームをダブルクリック**

7 復元するファイルやフォルダを右クリック

チェック!!

最後にバックアップした後に削除したファイルは、「アクティブのみ」が「スタンバイのみ」と表示されます。
また、最後にバックアップした後に更新したファイルは、「状態」に「"xx"古い」と表示されます。
詳細については、『Standby Rescue Multi V4.0 ユーザーガイド』を参照してください。

8 表示されるメニューから「復元」をクリック

9 「次のアイテムを復元しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

ファイルの復元が始まります。

チェック!!

復元するファイルやフォルダが複数ある場合は、手順6〜9を繰り返し、ファイルの復元を行ってください。

以上でデータの復元は完了です。
次に「PART1　再セットアップする」の「再セットアップの準備」(p.28)へ進み、再セットアップを行ってください。

◎2台目の内蔵ハードディスクで運用している場合

本機の再セットアップシステムは2台目の内蔵ハードディスクに対して再セットアップを行うことはできません。また、再セットアップ前に2台目の内蔵ハードディスクを未使用領域にする必要があります。
残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、1台目の内蔵ハードディスクにそのデータを復元し、2台目の内蔵ハードディスクドライブを未使用領域にした後、再セットアップを行ってください。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」ロゴの画面で【F2】を押し、BIOSセットアップユーティリティを起動する**

3 **「Boot」で起動順位を次のように設定されていることを確認する**

「Boot」の「Hard Disk Drives」
　「1st Drive」:「HDD: P0」
　「2nd Drive」:「HDD: P1」

4 **設定を保存し、BIOSセットアップユーティリティを終了する**
「1st Drive」から起動します。

5 **Windows起動時に「Standby Rescue Multi スタンバイディスクから起動しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック**

チェック!!

「Standby Rescue Multi スタンバイディスクから起動しました」と表示されない場合は、一度Windowsを終了してBIOSセットアップユーティリティで起動順位を再度確認してください。

6 **Standby Rescue Multiマネージャを起動する**

7 **「アクティブディスクとスタンバイディスクが入れ替わりました。現在起動しているディスクをアクティブディスクに設定しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック**

8 「Standby Rescue Multiマネージャ」画面で、復元するファイルやフォルダが存在するボリュームをダブルクリック

9 復元するファイルやフォルダを右クリック

チェック!!

最後にバックアップした後に削除したファイルは、「アクティブのみ」が「スタンバイのみ」と表示されます。
また、最後にバックアップした後に更新したファイルは、「状態」に「“xx”古い」と表示されます。
詳細については、『Standby Rescue Multi V4.0 ユーザーガイド』を参照してください。

10 表示されるメニューから「復元」をクリック

11 「次のアイテムを復元しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

ファイルの復元が始まります。

チェック!!

復元するファイルやフォルダが複数ある場合は、手順7～10を繰り返し、ファイルの復元を行ってください。

以上でデータの復元は完了です。
次に「PART1　再セットアップする」の「再セットアップの準備」(p.28)へ進み、再セットアップを行ってください。

再セットアップ前の注意事項
(RAIDモデルのみ)

RAIDモデルにおいて再セットアップを行う場合、ミラーリングが正常に設定されている必要があります。Windowsの再セットアップ作業に入る前にディスクアレイ情報を確認してください。

◎ディスクアレイ情報の確認

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」ロゴの画面の後で、「Press <CTRL-I> to enter Configuration Utility..」と表示されたら、【CTRL】+【I】を押す

正常にIntel® Matrix Storage Manager option ROMが起動すると、「MAIN MENU」と「DISK/VOLUME INFORMATION」が表示されます。

チェック!!

- 「DEGRADE VOLUME DETECTED」が表示された場合には、「◎「DEGRADE VOLUME DETECTED」と表示された場合の再設定」(p.59)を行ってください。
- 「Press <CTRL-I> to enter Configuration Utility..」が表示されない場合には、両方のハードディスクが故障しているかハードディスク以外の箇所が故障している可能性があります。ご購入元、またはNECにご相談ください。

参照 NECのお問い合わせ先→『保証規定&修理に関するご案内』

3 「DISK/VOLUME INFORMATION」→「RAID Volumes」→「Status」が「Normal」になっていることを確認する

```
                [DISK/VOLUME INFORMATION]
RAID Volumes:
ID   Name              Level          Strip  Size      Status  Bootable
0    xxxxxxx           RAID1(Mirror)  N/A    xxx.xGB   Normal  Yes

Physical Disks:
Port Drive Model       Serial #              Size      Type/Status(Vol ID)
x    xxxxxxx xxxxxxx   xxxxxxxxxxx           xxx.xGB   MEMBER Disk(0)
x    xxxxxxx xxxxxxx   xxxxxxxxxxx           xxx.xGB   MEMBER Disk(0)
```

チェック!!

「Status」が「Normal」と表示されない場合は、ディスクアレイ情報が正しく設定されていません。「◎ミラーリングの再設定」(p.59)を行ってください。

4 「5. EXIT」を選択する

5 「Are you sure you want to exit?(Y/N):」と表示されるので【Y】を押す

再起動します。

以上でディスクアレイの確認は終了です。
次に「PART1　再セットアップする」の「再セットアップの準備」(p.28)へ進んでください。

◎「DEGRADE VOLUME DETECTED」と表示された場合の再設定

1 **「DEGRADE VOLUME DETECTED」が表示された画面で【Enter】を押す**

2 **「5. EXIT」を選択する**

3 **「Are you sure you want to exit? (Y/N):」と表示されるので【Y】を押す**

再起動します。
システムが起動した後に自動的にミラーリングの再構成が開始されます。

チェック!!

ミラーリングの再構成には20〜60分かかります。

4 **「Intel(R) Matrix Storage Console」の「表示」メニュー→「詳細モード」→「Volume0」をクリック**

「情報」タブの「ステータス」に再構成の進み具合が表示されます。
「正常」と表示されたらミラーリングの再構成は終了です。

次に「PART1　再セットアップする」の「再セットアップの準備」(p.28)へ進んでください。

◎ミラーリングの再設定

1 **「DISK/VOLUME INFORMATION」→「Physical Disks」に2台分のハードディスク情報が表示されていることを確認する**

チェック!!

1台分のハードディスク情報しか表示されていない場合には、ハードディスクが故障している可能性があります。ご購入元、またはNECにご相談ください。

参照 NECのお問い合わせ先→『保証規定＆修理に関するご案内』

2 「DISK/VOLUME INFORMATION」→「RAID Volumes」→「Status」を確認する

チェック!!

「Status」が「Rebuild」の場合は手順9、10を行い、システムを再起動してください。
再起動した後に自動的にミラーリングの再構成が開始されます。ミラーリングの再構成には20〜60分かかります。
再構成の進み具合は、「Intel(R) Matrix Storage Console」の「表示」メニュー→「詳細モード」→「Volume0」をクリックすると表示される「情報」タブの「ステータス」で確認できます。「正常」と表示されたら、ミラーリングの再構成は終了です。

3 「RAID Volumes」にRAIDボリュームの情報が表示されている場合は、「2. Delete RAID Volume」を選択する

チェック!!

- 「RAID Volumes」が「None defined.」の場合は手順6へ進んでください。
- これ以降の作業を行うと、ディスクアレイが初期化されることにより、「再セットアップ領域」を含むハードディスク上のデータは全て消去されます。
  お客様のデータなどがハードディスク上に残っている場合、必ずデータのバックアップをとってから作業を行ってください。
  なお、「再セットアップ領域」を復元させるためには「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して標準再セットアップする必要があります。「再セットアップ用DVD-ROM」を入手(作成または購入)するまでは「再セットアップ領域」は削除しないでください。
  「再セットアップ用DVD-ROM」の作成方法については、「「再セットアップ用DVD-ROM」を作成/購入する」(p.46)をご覧ください。
- ハードディスク上のデータを全て消去した場合、「再セットアップ領域」を使用した全ての再セットアップ、および「再セットアップ用DVD-ROM」を使用した「Cドライブのみを再セットアップ」は行えません。

4 **「DELETE VOLUME MENU」が表示されたら、【Delete】を押す**

5 **「DELETE VOLUME VERIFICATION」と表示されたら、【Y】を押す**

6 **「1. Create RAID Volume」を選択する**

「CREATE VOLUME MENU」が表示されます。

```
[CREATE VOLUME MENU]
      Name:  Volume0
RAID Level:  RAID0(Stripe)
     Disks:  Select Disks
Strip Size:  128KB
  Capacity:  xxx.x GB

          Create Volume
```

7 **各項目を次のように設定する**

Name	RAID ボリューム名(1〜16文字の範囲で任意)を入力し【Enter】を押す
RAID Level	【↓】を押しRAID 1(Mirror)に設定し【Enter】を押す
Capacity	【Enter】を押す
Create Volume	【Enter】を押す

メモ

前の項目に戻るには【SHIFT】+【TAB】を押してください。

8 **「WARNING: ALL DATA ON SELECTED DISKS WILL BE LOST.」と表示されたら【Y】を押す**

「MAIN MENU」に戻ります。

9 **「5. EXIT」を選択する**

10 **「Are you sure you want to exit? (Y/N):」と表示されるので【Y】を押す**

再起動します。

以上でミラーリングの再設定は終了です。
次に「PART1　再セットアップする」の「再セットアップの準備」(p.28)へ進んでください。

チェック!!

手順3～8を行い、ハードディスク上のデータを全て消去した場合は、「再セットアップ用DVD-ROM」を使用して、「標準再セットアップする」、「全領域を1パーティションにして再セットアップする」、または「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」のいずれかの方法で再セットアップを行ってください(「Cドライブのみを再セットアップする」では正常に再セットアップできません)。

ハードディスクのデータ消去

ハードディスクのデータ消去について

チェック!!

『はじめにお読みください』をご覧になり、周辺機器を取り外してご購入時と同じ状態にしてください。

本機のハードディスクのデータを消去することができます。
ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、OS標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。
本機を譲渡、または廃棄する場合にご利用ください。

チェック!!

- ハードディスクのデータ消去にはBD/DVD/CDドライブが必要です。CDレスモデルをお使いの方は、別売のDVD/CDドライブを使用してください。
- RAIDモデルにおいてハードディスクのデータ消去を行う場合、ミラーリングが正常に設定されている必要があります。ハードディスクのデータ消去作業に入る前にディスクアレイ情報を確認してください。確認方法については、「再セットアップ前の注意事項(RAIDモデルのみ)」(p.57)をご覧ください。

消去にかかる時間は、消去方式やハードディスクの容量、モデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

- かんたんモード(1回消去)
  ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

・ しっかりモード（3回消去）

米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。

ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みを行い、3回消去を行うことにより、より完全に消去できます。ただし、3回書き込みを行うため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

・ しっかりモードプラス（3回消去＋検証）

米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。

「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みを行い、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去を行うことにより、より完全に消去できます。

なお、この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。データの復元が完全にできないことの証明が必要な場合は、NECフィールディング株式会社に有償のデータ消去を依頼してください。

NEC フィールディングホームページ
URL：http://www.fielding.co.jp/

ハードディスクのデータを消去する

1 **本機の電源を入れる**

2 **電源ランプがついたら、すぐに「アプリケーションCD-ROM」をBD/DVD/CDドライブにセットする**

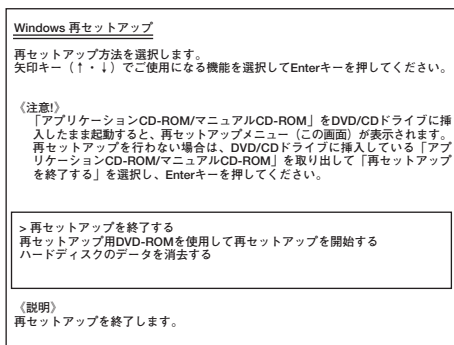
3 次の画面が表示されたら、「ハードディスクのデータを消去する」を選択し、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

再セットアップ方法を選択します。
矢印キー（↑・↓）でご使用になる機能を選択してEnterキーを押してください。

《注意!》
「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をDVD/CDドライブに挿入したまま起動すると、再セットアップメニュー（この画面）が表示されます。
再セットアップを行わない場合は、DVD/CDドライブに挿入している「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を取り出して「再セットアップを終了する」を選択し、Enterキーを押してください。

> 再セットアップを終了する
再セットアップ用DVD-ROMを使用して再セットアップを開始する
ハードディスクのデータを消去する

《説明》
再セットアップを終了します。

4 「ハードディスクのデータを消去します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

5 データを消去するハードディスクを選択し、「次へ」ボタンをクリック

6 ハードディスクのデータ消去方式を選択して、「実行」ボタンをクリック

7 「ハードディスクのデータ消去を開始しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

8 「ハードディスクのデータ消去が完了しました。」と表示されたら、BD/DVD/CDドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、【Enter】を押す

以上でハードディスクのデータ消去は終了です。